

第一回 石黒実都

縁能会 (ゆかりのかい)

令和六年九月七日(土) 十四時始め

皓月会 五十五周年  
松実会 二十五周年

記念大会

令和六年九月八日(日) 十時始め

大濠公園能楽堂

福岡市中央区大濠公園一番五号

092-715-2155

▼一口メモ 〽能の番組の書き方〽

後見、地謡、囃子方は、役により、舞台上で座る場所が決まっています。番組は上を客席に見立て、座る順番通りに書かれています。囃子方は上段（小鼓・大鼓）が内側、下段（笛・太鼓）がその外側に展開します。覚えてしまえば、楽器名が書いて無くても名前の位置で、誰がどの楽器担当か、わかります。もしも下段が一人なら、その楽器は、笛です。曲により、太鼓は入らない場合があります。地謡、後見も、書いてある通りに座ります。顔と名前を一致させる事が出来ますね。チラシの書き方と見比べてみて下さい。覚えてしまえば、合理的な能の番組のお話でした。

シテのツレや子方

シテ

曲名 ワキ

大鼓 太鼓  
小鼓 笛

ワキのツレ

間狂言

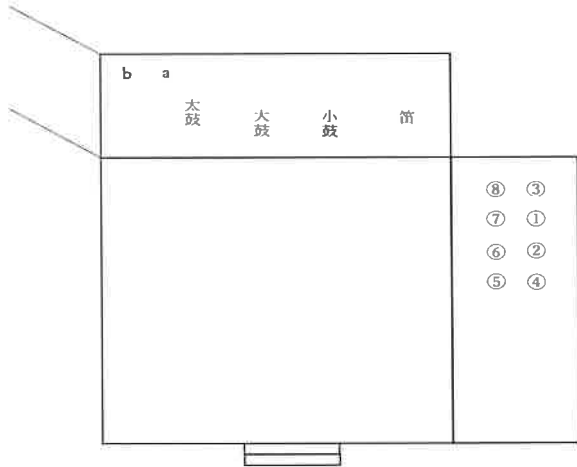
後見

a b

地謡

⑤ ⑥ ⑦ ⑧  
④ ② ① ③

※地謡の並び順等、流儀により  
異なってきます



第一回 石黒実都 縁能会（ゆかりのかい） 番組

令和六年九月七日（土） 十四時始め

速吟

草紙洗

石黒 実都  
山岡 晴美  
久貫 弘能  
山本万祐子

舞囃子

住吉明神

高砂

宝生 和英  
白坂 保行  
吉谷 森田  
光次 潔

辰巳大二郎  
辰巳満次郎  
辰巳孝弥  
和磨

仕舞

芦屋某の妻

砧前

大坪喜美雄

佐野 孝史 登  
武田 光夫  
東川 寛  
上野

【休憩二十分】

能

楊貴妃 石黒 実都

楊貴妃

方士 御厨 誠吾  
原岡 一之  
飯富 章宏

相原 一彦

間 蓬莱の人 野村 万禄

後見 宝生 和英  
山内 崇生

辰巳和磨  
辰巳大郎  
辰巳武田  
辰巳満次郎  
辰巳孝史  
澤田宏司  
佐野 光夫 登

（十六時半頃終了予定）

皓月会五十五周年・松実会二十五周年記念大会 番組

令和六年九月八日(日) 十時始め

連吟

鶴 龜

キリ

鎗光 啓二  
T i m C r o s s

(福岡)

仕舞

紅葉狩

川口 夢菜  
岩本奈 嗣実

(甲南女子大学一回生)  
(甲南女子大学一回生)

石黒 実都  
久貫 弘能  
山本万 祐子

熊 塚

野クセ

カ石 聡子  
グリンドルテレサ七海

(甲南女子大学一回生)  
(京都女子大学一回生)

久貫 弘能  
山岡 晴美  
山本万 祐子

玉 葛  
融 上

安藤 千由  
十河佳代子  
池田美代子

(丸亀)

素謡

放下僧 孝雄

秋武 興子

柴田 皓一

(ワキ次第より地「おかしの人」まで)

(若松)

辰巳 和磨  
上野 能寛

(十時五十分頃)

能

女・天女 結城千恵美  
附・龍神宮内 眞子

竹生島

臣下 坂苗

御厨 融

原岡 一之  
幸 正佳

吉谷 森田 光次 潔

従者 小林 克都

間

社人 吉住 講

復見

宝生 和英  
山内 崇生

伊藤 眞弓  
栗林 山岡  
飛永 山岡  
末政 尚子

石黒 実都  
久貫 晴美  
山本万 祐子

澤田 宏司  
辰巳大二郎

(シテ・ツレ 松山 地謡 大阪)

※後シテ・龍神の面「黒髭」は、松実会(大阪・高槻サニーハイツ教室) 洲脇哉治さまの作品です

(十二時頃)

連吟

熊 野

クセ

鎗光 啓二  
白木原佳子

(福岡)

歌巻

占キリ  
絹キリ

生島 典彦  
坂田 孝雄

(三田宝生会)  
(若松)

辰巳 孝弥  
辰巳 満次郎  
辰巳 和磨

素謡

半

岡田 康子  
藤 智大

武田 薫

(松山)  
阪上 晴子  
古屋久美子

戒能 澄子  
石黒 実都  
山岡 晴美  
久貫 弘能  
宮内 眞子  
石城千恵美  
結城千恵美

(初めよりクセ前まで)

弓

八幡 佐藤 智大  
永江 欣司

中尾 借主

(佐賀)

前山 英彦  
辰巳 大二郎  
藤川 謙一  
上野 孝弥  
能寛

(初めよりクリ前まで)

(十三時頃)

枕

舞囃子  
慈童

田中 聖子

(高松)

飯坂 保行  
吉谷 孝弥  
飯富 章宏  
齊藤 満次郎

辰巳 満次郎  
辰巳 孝弥  
辰巳 和磨

猩

戒能 澄子

(松山)

飯原 一之  
吉谷 孝弥  
飯富 章宏  
森田 光次

石黒 実都  
山岡 晴美  
山久 弘能  
山本 万祐子

教

盛

山本 貴之  
(三田宝生会)

飯坂 保行  
齊藤 敦

辰巳 大二郎  
佐野 登  
佐野 宏司  
澤田 和磨  
辰巳 和磨

富士太鼓

稲田 広子  
(松山)

原岡 一之  
齊藤 敦

辰巳 孝弥  
東川 光夫  
辰内 栄生  
辰山 磨

(十四時十五分頃)

玉

仕舞

栗林 ゆか

(大阪)

清

経タセ

安武 里美

(福岡)

石黒 実都  
久貫 弘能  
山本 万祐子

仕舞

源氏供養クセ  
耶アト

伊藤 真弓  
飛永 尚子

(大阪)  
(大阪)

井筒  
女郎花クセ

阪上 晴子  
生島 敦子

(大阪)  
(大阪)

杜 若クセ

古屋久美子

(大阪)

(十四時五十分頃)

素謡

祇 前山 英彦  
王 藤川 謙二

謙二

陣内 謙一

(初めより中入まで)

(佐賀)

佐藤 智丈  
中尾 借主  
永江 欣司

佐野 野  
上野 能寛  
登

(十五時十分頃)

能

房崎大臣 辰巳紫央莉

海人 上木 敏弘

龍女 吉田真理子

海人

從者 坂苗 融  
供 小林 克都  
問 浦人 吉住 講

白坂 幸

保行 正佳

吉谷 齊藤

敦潔

後見

東川 光夫  
澤田 宏司

原 明博  
辰巳 孝和  
山内 崇生

辰巳満次郎  
大坪喜美雄  
武田孝史  
佐野 登

(シテ大阪・(北九州)

地謡 広島)

(十六時二十分頃)

仕舞

野宮

末政 由子

(大阪)

山内 崇生  
辰巳満次郎  
辰巳大二郎

弓八幡

藤川 謙二

(佐賀)

辰巳満次郎  
辰巳孝和  
辰巳磨

(十六時三十五分頃)

鉄輪 渡邊 英一  
素謡

熊谷 尚文

(久留米)

澤田 宏司  
山内 崇生  
原博

(初めより中入まで、ワキ「いでいでいで軽じ変えんとしてより 地「…命は今宵ぞ。痛はしや」まで)

柏 村田加代子  
崎

橋本 雅子

石黒 清美

(ワキ「息ぎ候程に…」より 地「…夫を導きおはしませ」(下関・福岡)

山本 万祐子  
久貫 弘能  
石黒 由都  
末政 子都

### 付祝言

(十七時十五分頃終了予定)

主催 皓月会

佐賀・福岡・若松(北九州)  
下関・久留米・(鹿児島)

### 松実会

大阪・広島・松山・高松・  
丸亀



提供 一般財団法人 衆我財団

ご自身のスマートフォンとイヤホンで

無料でご利用頂けます

▼場内の電波状況により、接続出来ない、  
途中で音声が途切れるなどの不具合が生じる  
場合があります。ご了承下さい。

ゆかりの

縁能会

皓月会・松実会

石黒実都

大阪府高槻市宮野町3-2-604  
090-3494-8668

許可の無い方の写真撮影・録音・録画は御遠慮下さい

急な演目演者の変更などご了承下さい